

研究室紹介 かき研究室



けいこうぶんこうどけい 蛍光分光光度計
 しんくうとうけつかんそうそうち 真空凍結乾燥装置
 こうそくれいぎやくえんしんぎ 高速冷却遠心機
 しがいせんさつえいそうち 紫外線撮影装置

など充実した機器が装備されており、かきに関する様々な分析や検査に活用することにしております。

本県のかき研究は、1～2ページでも紹介しましたように、竹製筏の開発、垂下採苗法など多くの業績を挙げてきました。最近では、三倍体かきおよび縞かきの開発、一粒かき養殖技術開発、適正漁場管理研究、養殖種苗の管理手法開発など行ってきましたが、18年度からはかきの味覚成分や栄養分の分析にも着手する予定です。全国的にも数少ない名称にかきを冠した研究組織として、充実した施設を駆使し、さらに多くのニーズに応えていく所存です。

広島県では水産海洋技術センターの整備を契機に、これまで以上に特産であるかきの研究の充実を図っています。昨年度かき研究部を新設したのに続き、新装なったセンター本

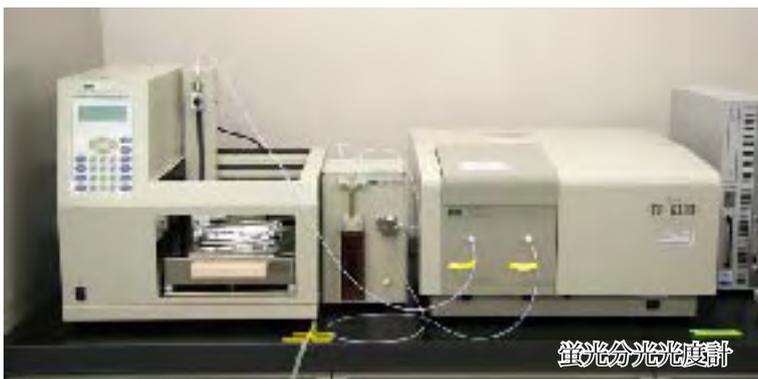
館2階には「かき研究室」を設けました。かき研究室の床面積は110㎡余あり、中央実験台3基、顕微鏡室、ドラフトを備えます。また、蛍光顕微鏡、フローサイトメーター、



フローサイトメーター



蛍光顕微鏡



蛍光分光光度計



紫外線撮影装置



ドラフト



真空凍結乾燥装置



高速冷却遠心機